



## NewTek社 LightWave 3D®の最新バージョン

### 「LightWave 10™ 正式日本語版」発売開始のご案内

株式会社ディストーム（本社所在地：東京都千代田区）は、2011年5月25日より、LightWave 3Dの最新バージョン「LightWave 10 正式日本語版」を発売開始する旨を発表いたしました。

LightWave 10 は、NewTek社LightWave開発チームにより次世代の3DCGツールの環境を考慮し開発された、新しい「COREテクノロジー」によって生み出される技術を組み入れた最初のバージョンとなります。

LightWave 10 は、メジャーアップグレードでありながらも、NewTek社のポリシーである「アーティストックな制作プロセスをサポートするツール作り」を念頭に、既存クリエイータのワークフローをできるだけ損なわないよう配慮しつつ、「COREテクノロジー」の搭載により数々の新機能が組み込まれたLightWave 3Dの最新バージョンです。

LightWave 10は、当初「COREテクノロジー」をベースに、アーキテクチャからインターフェースまですべてを含めて全く新しく生まれ変わった次世代LightWave 3Dアプリケーションとしてのリリースを検討しておりましたが、2009年より世界的に実施されておりましたパブリック・ベータテスト・プログラムにおいて、現行のワークフローを崩すことなく新たなテクノロジーの導入を求める大多数のクリエイータの意見を尊重し、現行のアプリケーションに「CORE」テクノロジーを搭載したLightWave 3Dを、LightWave 10としてリリースすることに決定いたしました。

「COREテクノロジー」の搭載により、LightWave 10では、アニメーション設定中であっても最終レンダリングに近い品質の画像を画面上で確認しながらの作業を実現する「ビューポート・プレビュー・レンダリング機能 (VPR)」、他の3Dアプリケーションとのワークフローを重視した「ファイ

ル互換システム (Interchange)」、現在の映画製作環境において必要不可欠である「ステレオ・スコピック機能 (Stereoscopic Tools)」など様々な機能面強化に加え、新しいSDKの提供により、機能面における拡張性を飛躍的に高める環境が整いました。

「COREテクノロジー」を搭載したLightWave 3Dは、今後もクリエイターが真に必要とする新機能を提供しながら、クリエイターと共にさらなる進化を遂げていけるよう、開発を続けてまいります。

(株)ディストーム 代表 阿部弘美は、「LightWave 10 正式日本語版」の発売開始について、以下の様にコメントしております。

「NewTek社では、2010年5月にLightWave開発チームの責任者として、約20年近くLightWave 3Dアーティストであり、ジェームス・キャメロン氏のもとで実際の映画制作の現場にて長年クリエイターとしての経験を持つRob Powers氏を迎え入れたことにより、これまで以上にクリエイターからの要望を最優先として開発に取り込む姿勢で、LightWave 3Dの開発を進めております。

今回のメジャーアップグレードLightWave 10では、3DCG開発会社としてこれまでの経験を持つLightWave 3D開発陣が長年育て上げてきたLightWave 3Dに対して、既存クリエイターの皆様の環境を壊すことなく、新しい「COREテクノロジー」によって生み出される技術を採用することで、従来のアーキテクチャでは限界とされていた機能面においても、さらに新たな期待が抱けることになっていることを、いちLightWave 3Dファンとしても非常に喜ばしく思う次第です。

これまでLightWave 3Dをご利用されてこられた方々、そして今後新しく3DCGクリエーションの世界に足を踏み入れようとしている方々に、是非、新バージョン「LightWave 10」をご利用いただければと思っております。

最後に、Rob Powers氏の陣頭指揮のもと、NewTek社ならびにLightWave開発チーム、さらには国内の多くのLightWave 3D クリエーターの方々のご支援を賜りながら、4年ぶりとなるLightWave 3Dのメジャーアップグレード「LightWave 10 日本語版」を国内にて発売開始できましたこと、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。」

## ◆LightWave 10の主な新機能と利点

### ●ビューポート・プレビュー・レンダリング(VPR)

リアルタイムレンダラー。指定した範囲内だけをレンダリングすることも可能。

### ●ステレオスコピック・アナグリフのプレビュー

リアルタイムな瞳孔間隔の調整、赤青アナグリフ表示によりビュー上で表示しながらの作業可能。

### ●バーチャル・スタジオ・ツール

Virtual Art Departments(VAD)で導入されたInterSense VCam仮想カメラ、および、3Dconnexion社製の3Dマウスをサポートすることにより、リアルタイムにシーン内でモデルデータの演出が可能。

### ●リニア・カラー・スペース・ワークフロー

よりリアルなライティングおよびプロレベルのパイプラインにおける合成の柔軟性を最大限に引き出すため、ガンマ、カラースペース、カスタムのルックアップテーブル(LUT)をサポート

### ●データ互換ツール

MDD、Autodesk® ジオメトリキャッシュ、FBX®、COLLADA™のサポートを強化することにより、他アプリケーション間におけるデータのやり取りの簡易化を実現。

### ●ユーザーインターフェイス

インタラクティブ・チャンネルスライダー、カスタムカラーのコントロールの追加、その他さまざまなワークフロー改善。

### ●マルチプラットフォームによるライセンスの提供

LightWave 3Dは、バージョン10より1ライセンスご購入につき、Windows版とMac版の両方のライセンスをご提供させていただくことになりました。バージョン10へアップグレードされたお客様へ、Windows32ビット版、Windows64ビット版、Mac32/Mac64ビット版の3つのプログラムとライセンスが提供されます。

LightWave 10の新機能の詳細につきましては、こちらをご参照ください。

<http://www.dstorm.co.jp/dsproducts/lw10/index.html>

## ◆ NewTek社からの重要なお知らせ「LightWave COREについて」

当初、NewTek社ではLightWave 10 リリース時を目標に、LightWave レイアウトとモデラーとの連携ツールとして「LightWave CORE」という新しいアプリケーションをご提供するべく開発を続けておりましたが、これまでのLightWave 3Dユーザーにとって、インターフェイスやワークフローが全く異なること、さらにレイアウトとモデラーとの連携面においても作業の複雑化を生じてしまうことなどの点を、ともに開発を進めてきた多くのベータユーザー様からご指摘を受けておりました。NewTek社ではこの意見をもとに検討に検討を重ねた結果、従来のLightWaveの良さを損なわないことを第一と考え、「LightWave CORE」は新しいアプリケーションという形でご提供するのではなく、今後LightWave 3Dの機能を拡張していくため、「LightWave CORE」で開発されてきたテクノロジーをコア・テクノロジーとして、LightWave 10より組み入れていくことを決定いたしました。この「LightWave CORE」テクノロジーは、LightWave 10よりVPRやファイル互換システム、ステレオスコピックなどの機能として既に取り入れられており、今後もLightWave 3Dの進化のために非常に重要なテクノロジーとして開発を進めていく予定です。

## ◆ LightWave 10に関する情報

LightWave 10に関する詳細な情報は、下記のURLをご参照ください。

- LightWave 10日本語サイトトップページ :

<http://www.dstorm.co.jp/dsproducts/lw10/index.html>

- LightWave 10 新機能紹介 :

<http://www.dstorm.co.jp/dsproducts/lw10/newfeatures.html>

- LightWave 10 機能紹介ビデオ :

<http://www.dstorm.co.jp/dsproducts/lw10/onlinevideos.html>

- Lightwave 10 日本語版カタログ

[http://www.dstorm.co.jp/archives/catalog/LW10\\_brochure.pdf](http://www.dstorm.co.jp/archives/catalog/LW10_brochure.pdf)

## ◆LightWave 10 日本語版の価格

### ●製品名 : LightWave 10 日本語版

※本製品はプロダクション様や個人の商用にてご利用される方用の「通常版」に加えて、学生様や教職員様を対象とした「学生・教員版」、そして、学校などで教育目的のご利用用としての「スクール版」をご提供いたしております。

### ●販売価格（希望小売価格）：

LightWave 10 日本語/通常版： 128,000円（税別）

LightWave 10 日本語/学生・教員版： 48,000円（税別）

LightWave 10 日本語/スクール版： 48,000円（税別）

※上記記載の「スクール版」の価格は1ライセンスあたりの価格です、複数ライセンスにてご導入をご検討の場合は、複数ライセンス用の価格をご用意いたしておりますので、詳しくは、全国のLightWave 3D取扱代理店へお問い合わせください。

## ◆LightWave 10 日本語版アップグレードについて

### ●製品名 : LightWave 10 日本語版アップグレードキット

### ●本アップグレード対象者と価格：

☆ LightWave 10 日本語/通常版アップグレード： 60,000円（税別）

対象者：LightWave v9 以前のバージョンをご所有の国内登録ユーザー様

☆ LightWave 10 日本語/学生・教員版アップグレード： 28,000円（税別）

対象者：LightWave v9 以前のバージョンをご所有の国内登録ユーザー様で、且つ、現在、国内の学生または教職員の方

☆ LightWave 10 日本語/スクール版アップグレード： 28,000円（税別）

対象者：LightWave v9 以前のバージョンをスクール版にてご所有の学校教育機関様

※上記記載の「スクール版」の価格は1ライセンスあたりの価格です、複数ライセンスにてご導入をご検討の場合は、複数ライセンス用の価格をご用意いたしておりますので、詳しくは、全国のLightWave 3D取扱代理店へお問い合わせください。

☆ **LightWave 10 英語版 to LightWave 10 日本語キット：12,000円（税別）**

対象者：「LightWave v9 日本語通常版」をご購入時「LightWave 10 無償英語版アップグレード付き」が付属したパッケージをご利用のユーザー様で、LightWave 10の日本語環境（インターフェイスの日本語化）をご希望される方

● **アップグレードお申込み先：**

本製品のご購入先は、下記のLightWave 10アップグレード取扱代理店または弊社オンラインストアへお申し込みください。

**LightWave 10アップグレード取扱代理店リスト：**

<http://www.dstorm.co.jp/dsproducts/lw10/upgrade/dealer.html>

**ディストームオンラインストア：**

<https://store.dstorm.co.jp/>

## ◆ **LightWave 10 日本語版の環境について**

● **ユーザーインターフェイス：**

日本語および英語切り替えが可能です。

※標準搭載されているプラグインについては一部英語メニュー表示

● **マニュアル、ドキュメント**

LightWave 10 日本語版パッケージ（Program Disc）には、LightWave 10の日本語マニュアルが含まれています。

・ **LightWave 10 新機能ガイド (LW10NewFeatures.pdf)**

LightWave 10で追加された新機能に関する解説です。

・ **LightWave 10 リファレンスマニュアル (LW10Reference.pdf)**

LightWave 10 日本語版のリファレンスマニュアルです。

・ **LightWave 10 チュートリアル (LW10Tutorial.pdf)**

LightWave 10 日本語版のチュートリアルマニュアルです。

・ **DS プラグインドキュメント (プラグインガイド)**

LightWave 10に付属されるD-STORM製プラグインの機能や用途に関する解説です。

・ **Expression ビルダー (Expressionビルダーフォルダ)**

LightWave 10の機能の一つであるExpressionビルダーの日本語リファレンスマニュアルです。

・ **LScript (LScriptフォルダ)**

LightWave 3D独自のスクリプト言語、LScriptの記述方法やサンプルスクリプトなどを記載したオンラインドキュメントとリリースノートが記載されています。

## ◆ LightWave 10への無償アップグレードサービスについて

### ● 2009年3月2日以降にLightWave v9.6日本語版アップグレードキットをご購入された方

該当の方は、LightWave 10 英語版を無償ダウンロードにてご入手することができます。

LightWave 10 英語版プログラムのダウンロードによる入手方法ならびに、ライセンス取得方法については、お客様が該当製品をユーザー登録された後約7営業日以内に、弊社より各該当ご登録ユーザー様へ、電子メールにてご案内いたしております。

なお、既にLightWave 10無償英語版をご入手されている方は、次のLightWave 10のマイナーアップデートまで新しい更新プログラムはございません。

### ● 2009年6月1日以降にLightWave v9.6日本語版を新規にてご購入された方

該当の方は、LightWave 10 英語版を無償ダウンロードにてご入手することができます。

LightWave 10 英語版プログラムのダウンロードによる入手方法ならびに、ライセンス取得方法については、お客様が該当製品をユーザー登録された後約7営業日以内に、弊社より各該当ご登録ユーザー様へ電子メールにてご案内いたしております。

なお、既にLightWave 10無償英語版をご入手されている方は、次のLightWave 10のマイナーアップデートまで新しい更新プログラムはございません。次のマイナーアップグレードの連絡が入り次第、弊社ホームページやメーリングリスト「infoStorm」にてご案内させていただきます。

### ● 2011年1月1日以降に、LightWave v9.6 学生・教育版をご購入された方

2011年5月下旬より、LightWave 10 正式日本語版を無償ダウンロードにてご入手することができます。

該当の方は、LightWave 10 正式日本語版のダウンロードの準備が整い次第（5月下旬を予定）、弊社より各該当ご登録ユーザー様へ電子メールにて、**LightWave 10正式日本語版プログラムのダウンロード配布に関するご案内ならびにライセンス取得に関するご案内**をご連絡させていただきます。

### ● 2011年1月1日以降に、LightWave v9.6 スクール版をご購入された方

2011年5月下旬から6月上旬にかけて、LightWave 10 スクール版のパッケージ（1パッケージ）を、ユーザー登録の窓口としてご登録されておりますご担当者様へ、LightWave 10のライセンス証書と一緒にお送りさせていただきます。

## ●LightWave 10 プレリリース日本語版アップグレード(料金:63,000円)をご購入された方

2011年5月下旬より、LightWave 10 正式日本語版を無償ダウンロードにてご入手することができます。

LightWave 10 正式日本語版のダウンロードの準備が整い次第（5月下旬を予定）、弊社メーリングリスト

「InfoStorm」にてご連絡させていただく予定です。なお、LightWave 10正式日本語版プログラムのライセンスは、LightWave 10 プレリリース日本語版のライセンスと同じライセンスとなります。

## ●LightWave 10 英語版 to LightWave 10 プレリリース日本語キット(料金:12,600円)をご購入された方へ

2011年5月下旬より、LightWave 10 正式日本語版を無償ダウンロードにてご入手することができます。

LightWave 10 正式日本語版のダウンロードの準備が整い次第（5月下旬を予定）、弊社メーリングリスト

「InfoStorm」にてご連絡させていただく予定です。なお、LightWave 10正式日本語版プログラムのライセンスは、LightWave 10 プレリリース日本語版のライセンスと同じライセンスとなります。

## ◆NewTek社について

NewTek社は、制作会社やアーティストに対して、より多くの利点、利益を提供するために、草分け的テクノロジー、そしてできるだけコストパフォーマンスに富んだ製品をお届けすることを主眼に、3Dアニメーションツール「LightWave 3D」、ポータブルライブプロダクション・映像編集ツールTriCasterや3PLAYを開発、そして販売している開発集団です。

NewTek社は、これまでにエミー賞を2回受賞しているほか、3DCGまたは映像業界から数多くの賞を表彰されています。

NewTek社の製品は、最近の映画ではAvatar、Repo Men、Alice in Wonderland、Tintin、The Dark Knight、Iron Man、Caprica、V、CSI: Crime Scene Investigation、Lost、Fringe、など、数多くの著名な映画、テレビ番組にて利用されています。

## ◆ディストームについて

ディストームは、NewTek社の国内代理店として、1992年10月に株式会社ディ・ストームとして設立、2005年4月に株式会社エヌジーシーと経営統合しディ・ストームディビジョン、そして、2009年11月に新会社として株式会社ディストームとして再設立させていただいた会社です。新ディストームは、NewTek社製品LightWave 3D、TriCaster、3PLAYのローカライズ、そして、国内ディストリビューションを主事業としながら、3DCGや映像系分野におけるローカライズ業



務、受託開発、プラグイン開発、加えて、イベントの開催など、ただ単なるモノ売り会社の領域を超え、よりクリエイター支援に視野をおいた事業活動を行う集団です。

## ◆このリリースに関する問合せ先

株式会社ディストーム

〒102-0076 東京都千代田区五番町2-4 カサ・ド・タク 50B

電話:03-5211-3208 FAX:03-5211-0207 電子メール : [info@dstorm.co.jp](mailto:info@dstorm.co.jp)

※当プレスリリースに記載されている仕様、出荷時期、価格は、予告無く変更されることがあります。

LightWave 3Dは、米国NewTek社の登録商標です。LightWave, 3PLAY, DataLink, TriCaster VM, TimeWarp, LiveControl, SpeedEDIT, VT[5], iVGA, LiveSet, LiveMatte, LiveText, 3D Arsenal 米国NewTek社の商標です。

※会社名、製品名、システム名の商標および登録商標はそれぞれの社に帰属します。